

桐生西ロータリークラブ週報

2010-11年度Rテーマ



レイ・クリンギンスミスRI会長 地域を育み、大陸をつなぐ

例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 片貝良一 クラブ会報・雑誌委員長 岡田善孝
 幹事 近藤幸利 委員 山岸泰男・松戸義澄

No. 1790

2010年12月3日発行

第1902例会 (2010・11・26) 報告

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 点 鐘 | 6. 委員会報告 |
| 2. ロータリーソング | 7. 講 話 地区 補助金・奨学金・年次寄付 |
| 3. 来訪者紹介 | 恒久基金 委員会 委員長 森田均 P G |
| 4. 会長報告 | 8. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 9. ロータリーソング |

ピジター

地区 補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金 委員会
 委員長 (渋川RC) 森田 均バストガバナー

会長報告

1. 今月はロータリー財団月間ですので、森田バストガバナーに講話をして戴く事になっております。
2. 過日、下山会員のお母様をご逝去され、会員皆様にはお手伝い並びに御参列いただきましてありがとうございます。また、改めまして御冥福をお祈り申し上げます。
3. 平澤会員が11月4日に手術され、昨日会長幹事でお見舞いに行き参りました。当初は足が痛くて診察を受けていた様ですが、心臓の血管が詰まっている為と判り、バイパスを繋ぐ手術をされ無事成功されたそうです。昨日は大変お元気で、一日一日と快方に向かわれているとの事で安心致しました。

幹事報告

- 近藤幹事
 次例会は年次総会です。
 12月のロータリーレートも11月同様1ドル82円です。下記のものが届いております。
- ・ロータリー財団より認証に関するお知らせ
 ポール・ハリス・フェロー認証品の発送方法の変更
 ポール・ハリス・ソサエティの管理運営の件
 新しい大口寄付レベルの見直しについて
 - ・福田ガバナー事務所より
 青少年交換プログラム申請提出期限のお知らせ
 「未来の夢計画」ハンドブック
 公式訪問のお礼状
 - ・希望の家よりクリスマス会開催中止のお知らせ
 例会変更のお知らせ
 桐生RC 12/20、12/27(休) 富岡RC 12/22、12/29(休)
 クラブ会報が到着しています
 桐生RC 11/22 桐生南RC 11/9 桐生中央RC 11/18
- 食事メニュー** 1 3 1 3 キロカロリー
 メカジキのチーズ焼き、若鶏の唐揚げ 明太子風味、

海老真丈と野菜カレースープ、香の物、白飯、しらすとワントンのパリパリサラダ、巨峰ソルベ

委員会報告

出席委員会 石川委員長
 総数49名(免除者8名の内4名出席の為4名を除く)
 出席率対象者45名、出席率対象者出席人数37名
 欠席者8名(内前メイク2名) 出席率86.67%
 前々例会修正出席率86.67% (最終欠席者6名)

ニコニコBOX委員会

新木委員長
 森田バストガバナー講話ありがとうございます
 片貝君、近藤君、星野君、井本君、金子君、
 根本君、家住君、江原君、正田君、稲森君、
 松原君、前原君、栗原君、岡田君

中野・下井田P会長に感謝 阿左美君
 X'masケーキ今年も美味しさをお届けします 符波君
 もうすぐ師走 田崎君
 無事帰って来ました 下井田年度親睦委員会

ロータリー財団委員会

鳥嶋委員
 ロータリー財団月間に際して バストガバナー・森田君
 森田バストガバナーを歓迎いたします

稲森君、符波君、乾君、松原君、花房君、
 根本君、阿左美君、星野君、鳥嶋君、
 田崎君、新木君、福島君、岡田君

ロータリー財団月間に因んで 江原君
 天沼副幹事、次例会欠席となりますが宜しくお願いします
 近藤君

米山奨学委員会

小林委員
 森田バストガバナー講話ありがとうございます
 星野君、根本君、稲森君、松原君、
 田崎君、新木君、岡田君
 X'masケーキご予約承ります 符波君

＜次例会予告＞

12月10日(金) 新会員卓話
 12月の出席100%表彰・誕生・結婚祝い

講 話



RI第2840地区
補助金・奨学金・年次寄付・
恒久基金 委員会 委員長

森田 均 君
(渋川 R C)

「ロータリー財団
月間に因んで」

本日は、ロータリー財団をよく理解して戴いて、皆様方に快くご寄付戴けるよう努める事が私の使命かと存じますので、お話しをさせて戴きます。

まず、寄付のお願いばかりするのは余り好ましくないと思いますが、寄付の背後にある奉仕活動を是非念頭に置いて戴きたいと思えます。RIは奉仕活動と寄付を、車の両輪の様なものであるという表現を用いています。

次に、寄付の使い道が良くわからないという事をよく耳にしますが、DDFという形で3年前の寄付金が50%地区に戻って参ります。これは完全に明確ですし、それ以外もはっきりとした使途でしっかりと使われております。

そして、決算報告もかなり詳細なものが国際ロータリーとロータリー財団から一緒に、1月頃各クラブに届くようになっております。

さて、横文字が多くて良くわからない、そしてシステムも頻繁に変わっているとのご指摘についてですが、私も同感でございます。反省すべき点は反省し、私も機会があれば、日本事務局等に提言したいと思っております。

それではロータリー財団についてご説明いたします。1917年にアーチC.クランプが「世界で良いことをしよう」という標語のもと提唱し、1928年に「ロータリー財団」となった訳ですが、法律に則った組織と認められたのが、1983年米国イリノイ州ででした。従いまして、寄付金控除が受け難いという点がR財団の足かせになっていることは事実であります。

R財団は15名の管理委員で組織され、委員長にはRI会長経験者が就任します。そういった事から、RIに対してしっかり物を申せる反面、梁山泊になり得る危惧もございませぬ。

ロータリー財団の使命は、人々の健康状態の改善、教育への支援、貧困救済を通じて世界理解、親善、平和を図ろうとするものであります。

ロータリー財団の主なプログラムは、大きく分けて3つあります。教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラス・プログラムです。

教育的プログラムには、国際親善奨学金と研究グループ交換(GSE)があります。

国際親善奨学生には単年度で26,000ドル支給されます。昔はマルチイヤーと言って2年間のもありましたが、支給された額は2年で26,000ドルと同額であったため余り人気無く、昨年度廃止されました。

研究グループ交換は、ロータリアンがリーダーとなつて、25~40才の4人の若者を引率して、4週間海外へ行って研修してくるプログラムです。そして基本的にはこちらが送り出す地区とお互いにパートナー仕合う関係に立つこととなります。

次に人道的な補助金プログラムですが、地区補助金(DSG)、マッチング・グラント(MG)、3・H補助金があります。

福田年度では地区補助金の為に22,500ドルを準備しております。締切が12月末、審査会が1月22日の予定です。申請が通らなかつたり、減額される事もあるという厳しい審査を行います。地区補助金は、継続事業と多額の補助は難しいので、数千ドルの範囲内で集約されると良いと思えます。また不動産の取得は認められません。特にご注意戴きたいのは、青少年の健全育成の為のものは全く否定される事が多くあります。人道性に関して言えば、対象が高齢者や貧困の人達に絞られております。

マッチング・グラント(MG)は、福田年度は22,500ドルを想定しております。それではマッチング・グラント(MG)と世界社会奉仕(WCS)の違いについてご説明致します。クラブで拠出して海外で奉仕活動を行うのは全てWCSです。そこに地区(R財団)の補助金を使った場合に限ってMGとなります。MGの補助金の限度額は5千~15万ドルとなっております。

3・H補助金は当地区では一度も使ったことはありません。3HとはHealth, Hunger, humanityのHです。30万ドルの上限で支給されるプログラムで、国際レベルのR財団の資金を使う事になりますので、余りお勧め致しません。

ポリオ・プラス・プログラムですが、ポリオは絶滅したと思われておりましたが、未だ世界で数カ所残っており、気を抜けば蔓延の恐れがあります。プラスと言う意味は、破傷風やジフテリア等も含めるという意味で、あまりに遠大な発想であり過ぎたため、現在では「これまでの実績」という意味で使われております。従いましてポリオのプログラムは基本的には一つとご理解頂けると宜しいかと思えます。

さて、寄付についてですが、「毎年あなたも100ドル」の年次寄付があります。そして、恒久基金という寄付もあります。これはこの寄付の預金利息を運用してR財団の活動資金に充てるというものです。冠名基金というものもあります。アーチC.クランプ・ソサエティは、25万ドル寄付しますと顔写真と略歴がパネルになって、RIのある部屋に飾られるといったものです。また1万ドル以上寄付しますとメジャー・ドナーとなります。

シェア・システムとは、3年前に寄付した半分が地区財団活動資金(DDF)として還元され、残り半分が財団全体の活動資金(WF)として使われる事です。

実はDDFが半分ほど繰越になっているのです。2013-14年度から「未来の夢」計画という新しいシステムになります。今後どの様にDDFが使われて行くのか、検討していかなければならないと思えます。

福田年度では年次寄付に100ドル、ポリオ撲滅運動に24ドルを会員1人の目標額にしております。このポリオの寄付は、ビル・ゲイツがR財団に行った総額3億5,500万ドルの寄付に対し、ロータリーが2億ドルを拠出することになった為に、1クラブ2千ドル、当地区は47クラブですので9万4千ドル拠出することになりました。会員1人にすると48ドルになります。昨年度はこれを全部DDFから拠出しました。しかし、これでは折角もらったDDFの環流ではないかとの意見がありました。全くその通りです。しかし、会員皆様に全額を課すのは負担が多すぎますので、今年度は半額は地区で、半額が皆様にご負担戴く事に致しました。

このような事情により、やはり寄付をお願いする事になってしまいますが、その背景には素晴らしい奉仕活動があるのだという事を、改めてご認識いただいで協力いただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。